

備えあれば憂いなし



2月1日、第4分館学習会(伴野小園地区)



第648号
発行人 ● 豊丘村公民館 唐澤克己
編集人 ● 長野県下伊那郡 豊丘村公民館 編集委員会
0265-35-9066
印刷所 ● 龍共印刷株式会社

私たちの村
(2月1日現在 ※外国人を含む)
男 3,411人
女 3,514人
総人口 6,925人
世帯数 2,106戸

災害から身を守るには 分館学習会で事前の備えを学ぶ

二月一日には第四分館で、二月六日には第七分館で、二月十日には第一分館で、それぞれ分館学習会が開催されました。「災害から命を守る」が共通のテーマで、講師はいずれも、飯田市役所危機管理室防災係長の後藤武志さんです。参加者は、後藤さんの迫力満点の講演から、災害への実践的な対処法を学びました。

「自分は大丈夫」は ダメです!

四分館(伴野小園)
吉川 士郎

公民館第四分館では、二月一日に区民会館で「災害から命を守る」という演題で学習会を行いました。昨年県内では多くの自然災害が発生し、尊い人命も失われています。防災意識の向上が望まれる中、約三十名の方が聴講されました。災害で犠牲者が発生する

危機感を持ち 常に備えを!

七分館(壬生沢福島)
松尾 和裕

飯田市では、阪神淡路大震災が発生した一月十七日早朝、何の前触れもなく全職員に緊急非常招集を発令し、非常時に備えた防災訓練を行なったそうです。

昨日、私たちの日常生活において天災、人災に関わらず、「安全」という言葉は薄れつつあるように感じられます。日頃から常に危機感を持ち、災害時にしるべきことを行なうことは必然且つ当然な行為といえます。

災害に対しては「防災」と共に「減災」も大事となります。家を耐震化する事はすぐにできなくても、家具を固定したり、危険な配置は直したりはできます。それで、災害発生時の被害を少しでも減らせます。まず

時には自らの 直感力で!

一分館(河野)
筒井 隆彦

飯田市危機管理室の後藤さんを講師に、九十分と限られた時間ですが、具体的な事例をもとに笑いも交え、わかりやすく講義いただきました。

三六災害から五十年以上経過し、豊丘村での災害も過去のものとなってしまっ

は「自分は大丈夫」と思わずに、身近な所から防災減災に取り組みたいと思います。



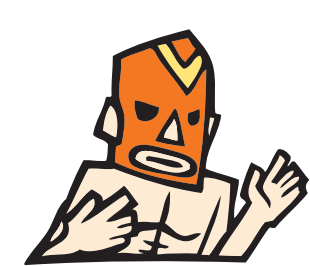
まず事前の備えをマスターし(7分館)



地震が来たら、まずこの体勢を(1分館)

ているとのことでした。幸い豊丘村では、河川の様子や雨量の情報をケーブルテレビを通じて知ることができ、避難の目安と出来ることからおさえたい数値であることがわかりました。

日赤奉仕団をはじめとし、四十人程の皆さんが熱心に聴講されました。「台所では冷蔵庫が最も危険、事前に固定しておくこと」「危険を感じたらまず逃げる」「災害時の相互扶助は、日頃の近所付き合いが大切」等、事前の備えと避難のあり方について熱心に講話していただきました。



(齋藤弘昭)

このような目安を知り、日頃の防災に活かすことが主体的な防災活動に繋がるのだと感じ、事前対策や予備知識の重要性を再認識させていただきました。

段丘

プロレス観戦が趣味の私。プロレス中継の動画サイトでよくプロレス興行を見ています。プロレスラーは常に体を鍛え、戦うというイメージがあるが、セルフプロデュースも必要とされる。目立たせるために異彩を放つプロレスラーが出てきている。ゲイレスラー、格闘家など。その中に気になる女性プロレスラーがいた。「安川恵斗」というリングネームを持つ女性。その団体のトップレスラーになるには技術が足りない。体力がない。しかも、引き立て役になる悪役レスラーのほうなのに。顔つきや表情が豊かで気がついたら何故か感情移入でき応援したくなる自分がいた。その彼女をモチーフとしてドキュメンタリー映画「がむしゃら」が放映されると聞いた。ポスター画像を見て、ロゴを見てびっくりした。紙面に書ける様な話ではなくドロドロしたものの、女性特有のものを投げ捨ててもプロレスにかける情熱がその画面からにじみ出ているように感じた。公開されたら、観に行こうと思う。

『オオカミとやまばんばをやっつけた!!』

1月29日、北保育園で四季大学冬季講座

一月二十九日に北保育園で四季大学冬季講座が開催され、東京理科大学の丸山克俊先生による公開保育が行なわれました。丸山先生扮するオオカミや「やまばんば」を相手に、園児たちは大いに楽しんだようです。

先生扮するやまばんばやオオカミに見つからないように隠れたり、友達と一緒に力を合わせて立ち向かったりしていく中で一人ではできないことも友達と力を合わせたらできた!!という体験が大きな達成感を味わうことができました。

丸山先生の運動遊び教室も終わりを迎えようとする「もう一回やりたい!!」や、「もうおしまい?」と話す子どもも多く、表情もとても清々しく本当に楽しい時間を過ごすことができました。

今回の丸山先生のご指導を通して体を動かすことの楽しさを改めて感じることができました。

また丸山先生が子どもたちと真正面から向き合っただけで、子どもたちの心の中にも遊びの世界が広がっている「こわい」という気持ちから「やりたい。」

「一緒にやってみよう。」という思いが大きくなり、自然と仲間と協力したり、夢中になって遊ぶことができました。

今後も丸山先生から教えて頂いたことを繰り返し楽しみ、体を動かすことの心地良さを感じていけたらと思います。このような機会を頂けたことに感謝致します。ありがとうございました。



園児に追われ、逃げるやまばんば

生き方を実践的に学ぶ

12月5日に豊丘中学校でいきいき講座

豊丘中学校では、昨年十二月五日に本年度最後となる「豊中いきいき講座」を開催しました。この講座は、地域で活躍している方々を学校に招いて講演をしてもらうことにより、生徒に地域や生き方をより実践的に学んで欲しいと願い、今年度から開設されました。

第一回講座は四月二十三日に実施され、郷土史に造詣の深い伴野在任の原嘉彦さんを講師に迎え、村の文化財や歴史について学びました。また、第二回講座は八月二十七日に行なわれ、豊丘村長の下平喜隆さんが、村の行政や経済、将来について講演されました。

本年度最後の第三回講座では、天恵製菓株式会社社長の片桐裕さんが、働くことの意味や、生きていくうえで大切なことを、自身の体験を交えて話されました。

「以前から片桐さんは「企業は人なり」という信念のもと、「良い社員に恵まれれば企業は成長でき、社会に貢献できる」として「人づくり」の大切さを説いています。当日の講演でも、自らの実体験で得た教訓を、豊丘中学生に贈る言葉として「人生と仕事、二度ない人生を有意義なものにするポイント」と題し話されました。その中には、「健康第二」「勤勉努力」「文化知識力」「科学技術力」「視野を大きく持つ」「社会に貢献する」等々、これから社会に出る中学生はもちろん、長い人生を歩んできた方々にとっても改めて心しなげればならない内容が満載されておりです。講演終了後には、生徒から、「自分に足りないものを教えていただいた本当に良かった」「十ポイントを実行すれば夢が実現しそうでやる気が出てきた」などの感想が多数寄せられました。また、片桐さんは、生きていくうえでの大切な要素として、「あきらめるな」「驚くな」「威張るな」「くじけるな」「負けるな」の五つをあげ、生徒たちを励ました。この五つは、最初の平仮名文字をとって、通称「あおいくま」といわれています。この「あおいくま」の話は、インパクトが極めて強かったようで、ほとんどの生徒が、事後の感想で、これから「あおいくまを実践していきたい」と述べておりました。

「豊中いきいき講座」は、「学校と地域との関わりを深め、生徒が地域や生き方を実践的に学ぶ」という点で、大きな成果をあげていると感じます。

(公民館 唐澤克己)

宮下 玄さん 八十九歳
 明子さん 八十八歳
 御夫妻 長沢在住

玄閣前に着くと御夫妻共に市田柿のバック詰めをしていたと思われる身支度で出て来られた。

玄閣から案内されて居間に入ると、築百年を越える家の重厚さを引き立たせている見事な梁に圧倒された。更に広い居間にでんと構える特製炬燵（正月には総勢

互いに支え合って

シリーズ「元氣な高齢者⑥」



計を立てた。こうして二人の生活を見ていた弟さん、妹さんは夫々結婚し仲の良い家庭を築いた。そして兄弟姉妹助け合って現在を築き上げて来たわけである。

十六人以上が取り囲むとのこと、賑やかな様子が目に浮かぶ。沢山のカレンダーが目に付いた。カレンダーには各々赤字で日程等が書き込まれていた。聞けば息子さん御夫妻、ご自分達の四人はもとより、他所で暮らす孫、曾孫と夫々の日程を記すとのこと。互いに少しも隠し立てしないオープンな雰囲気か漂っている。

お二人は佐原、堀越の分校で育ち遠距離通学の経験者である。結婚後七年で姑さんが早逝し、以後家の中の切り盛り一切をされた明子さん。それをじっと支えた玄さん。二人は力を合わせて養蚕と稲作を中心とした農業に打ち込み、現金収入を得る為に酪農も営んで生

「おばあが俺の欠点をカバーして明るく支えてくれたお陰だ」そんなことないよ。お爺さんがどつしり構えていてくれたからだ」

カレンダーといい、この会話といい家族に信頼と感謝の気持ちが満ちあふれており、健康長寿の秘訣を垣間見た思いであった。

文責 日下部富次
 桐崎 長一

2月8日 3分館餅つき大会大入り満員



ベテランの指導で子供も一緒につきました

いかにして活動すべきか等を学び合おうと毎年各地区持ち回りで開かれています。

今年も豊丘村の社協とボランティアセンターが中心となり運営にあ



熱気あふれる会場、300名余が参加

安全安心な地域実現に何ができるか学び合う

飯伊ブロックボランティア交流研究会
 ボランティアセンター
 運営委員
 竹村久永

このうち講演会では、飯田市危機管理室防災係長の後藤武志氏が講師を務め、飯伊地方を襲った土砂災害を振り返り、事前対策や発生時に取るべき行動等について写真や動画を使って解説した。

盛況を博した活動発表には喬木村や阿智村等六団体が登壇。DVDによる活動報告や演芸披露を行なった。休憩時に開設された特産市場には二十四団体が出店。パネル展示や加工品等を販売して賑わった。さらに地域の地域おこし協力隊が焼いた手作りパンも振る舞われた。

このほか、豪雨災害で被災した南木曾町を支援しようとして、同町の福祉施設ひだまり工房から購入した手作り雑巾とクリップが記念品として配布された。

村の現状や未来について学ぶ

女性団体連絡協議会主催

「村長さん」といって集まろう
つやぐらぶSKAI

女性団体連絡協議会主催の村づくりふれあい集会在「村長さん」といって集まろうという形で、一月二十六日に交流学習センター「ゆめあて」で開催されました。出席者は、村の当面の課題について村長と意見交換を行ないました。

関心もつて 村の発展願う

女性団体連絡協議会 代議員 壬生万里子

一月二十六日夜七時より「ゆめあて」にて開催されました。役場より村長、副村長、総務課長、産業建設課長の皆さんが来てくださりました。



スクリーンを使って村の現況を報告

語られました。その後、村政の今後のスケジュールや取り組み等の説明があり、質問に入りました。

村の第五次振興計画による六次産業化、産業を軌道に乗せる法人の設立、村の防災対策、日赤やボランティアへの参加及び意識等々についてご説明をいただきました。また、リニア開通後の見通しや人的交流のもたらす可能性について語ら

こちら資料館 150 河野北垣外遺跡 発掘速報

村の宅地造成事業に関する発掘調査が昨年二月から河野北垣外で行われ、縄

文中期(約四千五百年〜五千年前)の住居跡が一つ発掘されました。

注目されるのは住居のほぼ中央部分から、イノシシの顔をかたどった土器(写真)が出土したことです。

大きさは幼児の拳くらいですが、とても芸術的で太古のものとは思えない出来ばえです。

土偶かな?とも思われますが、実は住居の炉の中から浅い鉢のような土器の破片が複数発見され、どうもこの器の取っ手部分にこのイノシシの頭がついていたものと推測されます。

みんなの笑顔は あいさつから

北小五年

木下 太貴

あなたは、きちんとあいさつができますか。ぼくの学校では毎朝、マスクやふく面などをして、あいさつ

運動をしています。その委員会の人たちは、みんながどんなあいさつをしてくれるかを見て、その日あいさつがよかった人を放送で全校に発表します。ふく面の人もいっしょです。そんな

いっしょに行くと、たくさんのかぶと虫が採れて、とつてもうれしかったです。家族じゃないのにさそってくれたので、ぼくもお母さんもびっくりしていました。

わが国においても多くの方々が犠牲になった太平洋戦争からすでに七十経ちます。この平和を、これからも何としても維持したいものです。

最近わが国は、集団的自衛権の行使を容認する閣議決定とか秘密保護法施行など、何か雲行きが怪しくなっているのではないのでしょうか。

その頃、七月初めから祖父は腎臓病で臥せっており、当時はクーラーがなかったので、比較的涼しい裏庭に面した部屋に寝ていました。

あいさつから 人間関係の輪が

小中学生の「社会を明るくする運動」作文より

「どこ行ってきたの?」と聞かれたので、「カブト虫を採りに行ってきました。」

「おはよう」だけでなくて、「ありがとう」「ごめんね」「さようなら」などたくさんあります。

私は昭和四年(一九二九年)生まれで、先の太平洋戦争に、直接にせよ間接にせよ否応なく係った最後の年代です。

公民館報で連載してきた「章平先生の出会い、こぼれ話」が、著者である毛涯章平先生のご厚意で、冊子にして各戸に配布できることになりました。

その心の交流が中心ですが、師弟間のあり方のみでなく、広く人としての生き方や世の中の有り様までもが見えてきます。



いづれにしても、昨年発掘された地蔵道三島遺跡同様、豊丘村の位置する竜東の河岸段丘一帯に、かなり高度の文化を持つ縄文人が住んでいた証拠といえそうです。

村民広場 平和の維持を

昭和十二年に日中戦争が始まり、兵隊ばかりでなく、軍需物資等の搬送用に農家で飼育していた農耕馬まで徴用されるようになりました。

「荒野をゆくときも あらし吹くときも ゆくてをしめして たえずみちびきませまた会う日まで また会う日まで かみのまもり汝が身に離れざれ」

今いづくに

お知らせ 冊子として各戸配布

「章平先生の出会い、こぼれ話」

公民館報で連載してきた「章平先生の出会い、こぼれ話」が、著者である毛涯章平先生のご厚意で、冊子にして各戸に配布できることになりました。

その頃、七月初めから祖父は腎臓病で臥せっており、当時はクーラーがなかった

予め祖父の寝床を病室の窓際に移しておき、そこへ父が馬を連れていくと、しばらくぶりに祖父の顔を見た

た父が、愛馬の無事を祈り、讚美歌四〇五番の送別の二節

「荒野をゆくときも あらし吹くときも ゆくてをしめして たえずみちびきませまた会う日まで また会う日まで かみのまもり汝が身に離れざれ」

と歌うと、祖父も涙を流し、それにつれて家族全員が声をあげて泣きくずれました。

「国策ぞと 有無を言わせず連れていかれし 愛馬の霊や今いづくに

~シリーズ~ 豊丘の自然

No.136

ホンサナエ
(サナエトンボ科)



今年の六月八日、多目的広場で採った個体。コサナエと思いついていたので、写真に撮って確認してびっくり。名前はホンサナエ。和名の変遷がちょっと変わっているので紹介する。

最初はオオサナエモドキと名づけられた。その後、サナエモドキと改称されたが、モドキとはとれなかった。以前(No.71,72)、紹介したことがあるが、「擬き」と書き、「似ているもの」であった。本物ではない。ところが、三回目の改称で、モドキがホン(本物)になった。話はかわるが、ホンサナエ、コサナエとも、今後、確実に見られ続けるとは断言できない。だとすれば、出会ったすべての動・植物の今を記録しておかなければ...

前(No.71,72)、紹介したことがあるが、「擬き」と書き、「似ているもの」であった。本物ではない。ところが、三回目の改称で、モドキがホン(本物)になった。話はかわるが、ホンサナエ、コサナエとも、今後、確実に見られ続けるとは断言できない。だとすれば、出会ったすべての動・植物の今を記録しておかなければ...

お知らせ

3月28日

公民館まつり

公民館では、三月二十八日に公民館まつりを開催します。これは、公民館のグループが日頃研鑽している成果を発表するための企画です。公民館には、現在八〇近いグループがあります。その中で、作品を展示し、発表できるグループには、例年文化祭作品展があり、そこで毎年素晴らしい作品を展示発表いただいております。しかし、その他のグループについては、発表の場が限られていたり、あるいは不十分であったりしました。そこで新しい公民館ができたのを契機に、希望するグループに発表の場を設けたわけです。

今回、発表を行なうのは、調理や料理に関するグループと、ステージを使うグループです。前者は、日頃作っている食べ物や参加者に試食として提供することで発表に代えます。また、後者につきましては、素晴らしいホールの中で演技や演奏等を行なうので、研鑽してきた成果を十二分に発揮できると思っています。良好なコンディションでの発表は、新たなやりがいに通じますし、見学に来られた方々にとっても、それを楽しむことで新たな活力を得ることができそうです。村民の皆さま、ぜひご来場ください。

なお、当日は公民館活動で貢献された方々や、スポーツ等で活躍された方々の表彰も行ないます。

公民館まつりの概略は次の通りです。

〔日時〕三月二十八日(土)
午後一時〜五時三十分

〔場所〕交流学习センター

「ゆめあるて」

〔発表グループ〕
〔調理・料理関係〕
ベーカーリー豊丘、メロンパングループ、男の料理教室、食生活改善推進協議会

〔ステージ発表関係〕
ウクレレ・ヒラ・ハワイアンズ、DBGよしみバンド、こぶし会、豊丘すいれん花架拳クラブ、豊文三会、フラ・ママ、ママ・サブニユマ、豊輝星、フラ・ラウレア、豊丘太鼓の会、SK豊丘、公民館カラオケクラブ、とよおかウィンドアンサンブル、豊菊会、パッション体操クラブ、ふる里を歌う会、フラ・ブルメリア

小学生も参加



公民館冬季レク

「冷凍庫の中の熱戦」と謳われる公民館の伝統行事、冬季レクレーション大会が、二月十一日の建国記念の日、市民体育館で開催されました。競技種目はソフトバレーボールで、今年も混合の部に五チーム、女性の部に六チームが参加し、厳寒の中で白熱した試合を展開しました。混合の部には小学生を交えたチームも加わり、百戦錬磨のベテランチームを相手に、善戦健闘しました。この大会を契機に、若い世代へもソフトバレーボールの魅力や楽しさが広がってほしいと期待されています。



好プレーが重なりラリーが続く

互いに好プレーが連続して限りなくラリーが続くなど、観戦していても、実に見応えがありました。

大会に参加された方々が、こうした機会を通じて、心身の健康を一層増進され、日々の活力を養っていたいただけるよう願ったものです。

(公民館 唐澤克己)

大会結果

- 〔混合の部〕
- 1位 B・W・H B
 - 2位 B・W・H A
 - 3位 T E N K E I フォーエバー
 - 4位 T E N K E I ユートピア
 - 5位 総合型SPクラブ
- 〔女性の部〕
- 1位 河野フレンドA
 - 2位 H e y s e y セブン
 - 3位 T M H
 - 1位 河野フレンドB
 - 2位 きさらぎ
 - 3位 ミルキー

俳句 短歌

悴むや工事の径へ日のほひ
湯浴みして見黄泉へ寒の月
咲けばすぐ散る山茶花よ思ひ人
初鴉群れて旋回杜の上
雪が舞い鳶も一緒に右回転
年越しに初めて食すお握膳
穏やかな空へ端正雪の嶺
眞さらの唇にするす剪定日
診察を終へて車に雪五寸
未来へと雨被ひたる淑気かな
初春を共に迎へし母は亡し
母の忌や水仙の香地にひそみ
元朝や熾に杉の香残しをり
掲ぎあげて静止の水車大氷柱

磯部セツ子
田中 静
竹村 茜
片桐 洋子
下平 玲子
三島 保子
三島 里子
木下 眞水
和地 睦夫
宮下 公
宮下 純子
丸山 時子
林 恵美子
北原 昭子

〔八日念〕
花札も百人一首も子供等は勝てば揚々負ければ涙
吉沢 新子
枯れ始む土草の中に蝗いて手の平にのせば動きはじむる
織田大原
暮れてゆくうす紅色の雲の中白鷺一羽北へ向える
岳 道
幼かる甥と姪との年賀状に添え書をして出せるうれしき
紅 梅
夕焼けの空をめぐしてゆくからすねぐらをめぐしゆくを見送る
松島 八重
捨てなんと洗ひしマフラー同じ柄をドラマのおなご頬かぶりおり
河原 梨花

〔公民館短歌会〕
切りたての芋干し並ぶ籠るじに冬日を受けて黄のぬれぬれと
福澤貴美恵
高熱で三日寝こめる妻かばいほし柿しあげ笑みかわしあう
松下 泰見
元旦の床にいけられ水仙のほのかな香ほり静けさ誘ふ
松尾ヒサコ
値上りの予定あまたをやりわりとテレビは伝える新春のあさ
大原眞由美
列島にいく筋走る活断層やま掘るらしが神怒らぬか
筒井 恵子
襦袢とは言はずパットと語尾上がる妻はときどきをんなに戻る
富永 博道

〔酒井 省吾 木門 齋藤 広美 箕輪町 死亡〕
死亡者 年齢 届出人 自治会
松尾 潔 87 恵子 寺島二
原 うめ子 78 政広 林原
平澤 幸一 84 和広 北市場三
原 徳一 91 良人 林里一
片桐 悦男 83 豊子 下市場
安田 和博 64 里子 中芝
織田原雄雄 87 和良 古瀬
伊東イチエ 87 正光 南市場
原 直人 95 智啓 壬生北
松本 唯也 61 千代 林里二

柳

〔豊丘川柳クラブ豊柳会〕

▼課題「餅」北原伸章 選
初すべり尻餅ついて皆元氣 宮島 昭三
鏡餅鼠も来ないプラの中 久保ひろし
元旦の雑煮の膳にある至福 市沢 照子

▼課題「正」北原伸章 選
常識の正しさを諷るこの世相 小澤 凜
戦争に正義をかざし人殺す 吉川 燎
ライバルに真正面から立ち向かう 桃沢 健介
正論を吐いて皆から浮き上がり 林 桃子
人を見て正す暮しに灯がともる 西元 峯子
軸吟：正直に生きて敵なし賞もなし

▼自由吟 桃沢健介 選
暖房費気にし乍らもぬくぬくと 宇井恵美子
初夢も軍靴の音にうなされる 福沢 勝美
沖縄の民意へ国がなたを振る 原 美風
軸吟：世界史が生んだ鬼子と羊の子